

平成30年度 社会福祉法人よるべ会 事業計画

平成30年度「社会福祉法人よるべ会事業計画」は平成30年3月9日（金）開催の理事会および平成30年3月16日（金）開催の評議員会で決議・承認を受けました。当法人では、その活動について、透明性を図るため、平成30年度「社会福祉法人よるべ会」事業計画の概要をここに公開いたします。

平成30年度 社会福祉法人よるべ会 事業計画の概要

【1】平成30年度 主な計画

（1）権利擁護の確立

- ① 権利擁護についての基礎学習と研修を行う。
- ② 様々な利用者の障害の理解、日常支援場面での職員としての姿勢・言動や記録の表現、開示や検証に耐えられる記録の方法を身につける。

（2）管理・運営体制の更なる強化

執行委員会、執行責任者会、運営会議等により、これからの法人活動を支える運営・責任体制の強化を行う。

（3）人材育成の実質的取り組み

- ① 支援力の向上を基に職員間の連携・連動を図り、有効的な相互理解・協力・チームづくりを行う。
- ② 初任職員の指導体制充実をめざし現行チューター制度の更に有効な活用を行う。
- ③ これからの法人を担うリーダーを養成する（階層別研修等を行う）。

（4）地域社会との連携

地域自治会や社協等の活動、また地域イベントへ積極的に参加し、地域社会に求められる役割づくりにつなぐ。

（5）職員労務管理の改善

勤務時間と休日日数の変更を行う。年間休日を106日から115日とし、1日の勤務時間を7時間45分から8時間とする。

【2】事業の実施

- (1) 障害者支援施設・障害福祉サービス事業所「よるべ沼代」の設置経営
- (2) 障害福祉サービス事業所「コスタ・二宮」の設置経営
- (3) 障害福祉サービス事業所「梅香園」の設置経営
- (4) 福祉型障害児入所施設「わらべの杜」の設置経営
- (5) 障害者就業・生活支援センター事業等「障害者支援センターぽけっと」の実施・運営
- (6) 共同生活援助事業「かめりあホーム」「かめりあホームⅡ」「ナスカの家」「一色ハウス」「湘南ビレッジ」「エピナールホーム」「ポラリスホーム」「あずさの家」「ポプラの家」「わたくも」の設置経営
- (7) 短期入所事業の実施「よるべ沼代」「わらべの杜」「あずさの家」
- (8) 地域生活支援事業・日中一時支援事業の実施「よるべ沼代」「コスタ・二宮」「梅香園」
- (9) 相談支援事業の実施「障害者支援センターぽけっと」「よるべ沼代」「梅香園」「コスタ・二宮」「わらべの杜」

【3】役員会の開催

(1) 定例役員会開催

理事会開催予定 平成30年6月8日、平成30年10月19日、平成31年3月15日

評議員会予定 平成30年6月22日、平成30年10月26日、平成31年3月22日

(2) 必要に応じての役員会の開催

【4】監事監査の実施

今年度決算終了後の次年度5月に事業活動と会計について実施予定。

【5】債務の返済

	社会福祉医療機構	神奈川県 社会福祉協議会	合計
29年度末借入金残高	220,120,000	63,632,000	283,752,000
30年度償還金元金予定額	18,484,000	5,177,000	23,661,000
30年度償還金利子予定額	2,813,368	176,772	2,990,140

【6】家族会との連携充実を図り、各種行事において共同で行う

「保護者会」および「みのり会」の開催。「保護者会清掃」「よるべ夏祭り」「梅香園納涼祭」「よるべふれあい祭り」「よるべ会新年会」等を共催する。

【7】職員の確保と資質向上を図る研修を行う

平成30年6月12日および14日に新任職員研修を開催。また昨年度は全国各地、120以上の研修に、延べ150名以上を派遣。今年度も同様の規模で行う予定。

【8】職員の学習及び障害者福祉の理解の広がり、地域社会との連携と拡充を図るため「よるべセミナー」を行う

平成30年9月29日（土）桜美林大学より講師に谷内孝行氏をお迎えして「情報開示と検証に対応した支援記録のあり方」についての研修会を開催する予定。

【9】よるべ会の活動状況の情報提供として「瓦版よるべ」を発行する

広報誌「瓦版よるべ」を年2回発行する。その他WEB (<http://www.yorube.or.jp/>) 上にも情報公開を行う。

【10】各施設・事業所の防災対策の充実

各事業所に防災委員を配置し、専門研修を行い、危機対応能力の向上をめざす。また各事業

において「大規模地震」等を想定しての避難・消火訓練を定期的に行う。消防署と連携しての防災訓練を行う。

【11】 I S O内部監査

年2回 平成30年6月19～21日および11月13～15日に実施予定